

# おおば利信

## 議会だより

第25号

令和6年4月発行



発行者 出雲市議会政雲クラブ 〒699-0552 島根県出雲市斐川町中洲 1175 番地  
編集者 大場 利信 電話/FAX: 0853-72-1611 メール: ohba@ohba-toshinobu.com

公式ホームページ: <http://ohba-toshinobu.com>

3月議会が終わりました。3月議会は2月16から3月25日までの長丁場で、市長の令和6年度の「施政運営」や「当初予算」が議論されました。この議会だよりでは、主な予算や課題、一般質問などについて報告いたします。

### 市長の施政方針

- ・令和6年度は新出雲が誕生してから20周年の記念すべき年
- ・出雲市総合体育館（愛称「出雲だんだんトマトアリーナ」）のオープン
- ・山陰道の「出雲・湖陵道路」「湖陵・多伎道路」が令和6年度に開通し、これにより県東部から大田市石見福光まで全線開通し、地域経済の活性化と緊急時の路線確保に大きな効果が期待される。
- ・目標人口17万人台をキープするため産業や地域の振興に努める。

このような決意の下、**市政運営の6つのポイント**を示しました。

- ① 活気あふれる**地域経済**への基盤強化と官民連携の更なる推進
- ② 移住・定住の推進、交流人口・関係人口の**拡大**と中山間地域振興
- ③ ハード・ソフト両面による**安全・安心**なまちづくり
- ④ **子育て**にやさしい選ばれるまちづくり
- ⑤ **デジタルファースト**を実感できるまちづくり
- ⑥ 未来に向けた**環境**にやさしく持続可能なまちづくり

### 新年度予算の主なもの

一般会計当初予算は**897億7000万円**で、対前年度より4億7千万円、率にして**0.5%の伸び**です。**市政運営の6つのポイント**に基づく予算の主なものは以下の通り。

#### ① 活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の更なる推進

- 農業3事業（ソフト面）：1億3420万円  
・未来の懸け橋事業、チャレンジ事業、人・農地プラン推進
- 森林環境譲与税を活用した林業の生産拡大等：1億4,570万円
- 企業誘致促進と企業用地造成、周辺環境整備：11億8,280万円
- 出雲市版デジタル地域通貨推進（新規）：**850万円**
- 地域公共交通：1,687万円。うちバス・タクシー運転手確保支援事業（新規）：231万円

#### ② 移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と

#### 中山間地域振興

- 観光（基本計画策定、誘客推進、インバウンド推進）：1億690万円
- サイクリング環境整備（新規）**など：1,693万円
- ③ **ハード・ソフト両面による安全・安心なまちづくり**
  - 防災対策及び原子力防災対策：3,920万円
  - 市街地水害解消対策（直江地区も新規に対象とする）：2億6,270万円
  - 生活環境道路・下水路改良（拡充）：3億9,500万円
- ④ **子育てにやさしい選ばれるまちづくり**
  - こども未来戦略関連：114億8,180万円  
この分野は予算額も大きく、新規事業や拡充された事業も多くあります。  
市からの説明を聞いて対応していただきたいと思えます。  
(主なもの)
    - ・出雲市こども計画策定（新規）
    - ・児童手当（拡充）：令和6年12月支給分から

所得制限が撤廃され、高校生年代へも支給されます。第3子以降は月額3万円が支給される。

- ・ひとり親家庭への児童扶養手当（拡充）：令和7年1月支給分から所得制限が見直され、第3子以降の加算額は第2子の加算額と同額
- ・「こども家庭センター」が新設され、母子保健と児童福祉の機能を一体的に支援する。

○乳幼児・子ども医療費助成：6億9,470万円

#### ⑤ デジタルファーストを実感できるまちづくり

○デジタルファースト推進：7,530万円  
 ○縁結びデジタルプロモーション事業：2,062万円  
 ○学校でのICT活用推進：5億8,060万円

#### ⑥ 未来に向けた環境にやさしく持続可能なまちづくり

○ゼロカーボンシティ加速化：6,600万円  
 ○再生可能エネルギー設備等導入補助：2,200万円  
 ○トキ関連事業：9,776万円

### 市の従来からの課題への対策

#### ○ 不登校児童・生徒の急増対策：1億1,950万円

市長及び教育委員会は、不登校対策は「重要かつ喫緊の課題」として、新年度予算で対策を示しました。

**不登校対策の基本的な考え方**：不登校の未然防止に努めるとともに、不登校になったとしても、学校だけではなく多様な学びの場を確保し、個々の学びを保障する。

#### 対策の内容

- ・不登校相談員の配置（拡充）：20人→26人  
小学校12校、全中学校14校へ配置。
- ・送信用タブレットパソコンを26台整備（新設）  
教室に入りづらい児童生徒が授業へ参加する機会を確保する。
- ・教育支援センター（すずらん教室（今市）、光人塾（平田）、コスモス教室（斐川））の指導員の増員：19人→21人（拡充）
- ・教育支援センターに送信用タブレットパソコンを3台整備（新設）
- ・「出雲市不登校対策指針」の策定（新規）

#### ○ 労働人材の不足対策：2257万円

若年層人口が不足する中で、特に市内の製造業、建設業、介護関係施設では人材確保が深刻です。私も今まで定住外国人の就職に絡めて一般質問で訴えてきました。新年度では、次の3つの事業が予算化されました。

- ・学生地元就職支援事業：730万円  
新たに、IT技術者と学生の交流会及びものづくり

高度人材育成講演会を設ける。

- ・人材確保対策推進事業：827万円  
出雲地区雇用推進協議会やUIターン就職希望者及び外国人住民に対する就職支援を行う。（一部新規）
- ・高度IT人材誘致と拠点づくり事業：700万円  
都市部や外国からの高度IT人材を誘致し、IT産業が集積する拠点づくりを行う。



2月4日の外国人対象の企業説明会（市役所くにびきホール）

### 公共財産活用特別委員会からの報告



- 写真は、元市役所跡地で現在は市の公用車の駐車場になっています。ここは出雲市街地の中心部にあり、重要な土地であり、市を活性化するため、民間施設の誘致などを含め検討する必要があります。



- 写真は、旧出雲市体育館です。近い将来にこの

建物を解体し、市社会福祉協議会をはじめとする福祉関係、乳幼児健診センター、子ども・若者の相談センター、教育支援センターなどから成る複合施設の建設に向けて検討をすることとしております。

## 請願・陳情

- 補聴器購入助成の実施に関する請願→採択（全議員）
- 骨粗しょう症検診実施への陳情→趣旨・目的には賛成できるが、実現性の面で検討が必要なため趣旨採択（全議員）

## 令和6年度当初予算に現れた 斐川地域の主な事業

### ○ 久木コミュニティセンター整備事業

待望の久木コミュニティセンターの整備がやっと新年度予算に取り上げられました。平成24年2月3日に移転新築期成同盟会（多久田達雄会長）とともに議長あてに請願をし、採択されておりました。今回の予算は近接している市有地に移転するための敷地測量業務（200万円）です。今後のスケジュールは、令和6年度：敷地測量業務、令和7年度：実施設計業務、**令和8年度：建築・設備工事**です。



- 出雲斐川インター企業団地の造成に伴う道路の改良および周辺環境整備：1億4300万円
- 荘原三絡線（荘原小学校→国道9号線）の整備
- 新川中央線歩道整備：4年継続事業で3年目（216m）
- 直江新川アンダーパスの浸水対策事業（国道9号線→村田製作所正門への道路）



- **出東小学校**の屋内運動場（昭和53年11月建設）の老朽改修の設計を行う。  
**令和7年の夏休みに建設予定**
- **出東小学校児童クラブ**：元出東幼稚園の跡地に整備する実施設計を実施  
**令和7年度建設**。建築面積170㎡、児童数50人程度。
- **西野小学校**：令和8年度以降に普通教室不足が見込まれるため、校舎増築の実実施設計および進入道路改築工事を行う。5,260万円。
- **荘原小学校**：普通教室不足対策として内部改修により普通教室を確保する。2,430万円

## 3月議会での一般質問



（3月1日に2つの項目について一般質問を行いました。）

## 市内産の農産物の輸出について

（答弁：三代農林水産部長、井上副市長）

### おおばが質問した理由

2月3日に鈴木農林水産副大臣の講演が斐川町でありました。講演の要旨は、国内のコメ消費量が減少している中で、日本産農産物の需要（人気）の回復や円安の影響の下、コメを含めた農産物の国外の需要拡大にオールジャパンで対応しなければならない、国はワンストップで輸出を支援する機構を立ち上げている。輸出拡大が、地域農業の生産基盤の維持・拡大や農業人材の育成をもたらす旨の熱い講演でありました。出雲市の現状と考えについて執行部に質問しました。

### ○ 出雲市の農産物および農産物加工食品の輸出の現状（令和4年度）

- ・ 輸出額：4億2,300万（農産物600万円、加工食品4億1,700万円）
- ・ 主な輸出先：台湾、タイ、香港

- ・品目：農産物：ぶどう、アスパラガス、柿、芋、シイタケ
- 加工食品：お茶、そば

### おおばのコメント

井上副市長や三代農林水産部長の答弁から、農産物の輸出については生産・流通・行政手続き面でクリアすべき多くの課題がありますが、国は農産品の輸出に取り組みやすい環境や制度を充実させつつあります。出雲市農業の活性化や担い手の育成にも好影響を及ぼすと考えられますので、海外市場への成功事例を見ながら、農業者、県、JAなどの意向を踏まえ、市内産の農産品の輸出を考えたい旨の見解でした。

## 成年後見制度の利用状況などについて

(答弁：金築健康福祉部長)

### おおばが質問した理由

成年後見制度は、認知症、知的障がい、精神障がいの理由で判断能力が十分でなく支援が必要な人の意思決定を支援・保護する重要な制度ですが、全国的に利用は低いようです。出雲市の現状を質問しました。

### ○ 出雲市の利用状況

- 利用者は396人（令和5年10月時点）で、利用が低い主な理由は
- ・必要性がなくなっても利用をやめることができない
  - ・支援内容が変化しても後見人の交替が難しい、な

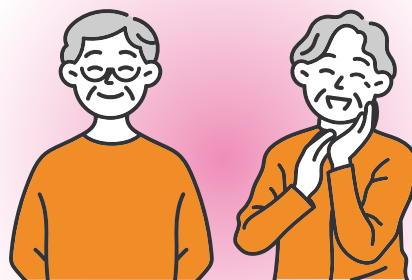
どです。

### ○ 出雲市での成年後見制度を支える人

出雲市では「出雲成年後見センター」および市社会福祉協議会の「権利擁護センター」があります。弁護士や司法書士の法律の専門家と福祉関係の専門家と**市民後見人**で、定例的に事例検討や課題整理を行うとともに、後見人の養成、普及啓発活動など幅広い活動をされています。なお、市民後見人は現在31の方が市民後見人バンクに登録されています。後見人不足の中で朗報です。

### おおばのコメント

最近、法務省は利用しやすい制度や運用の検討に入り、令和8年までに結論を出すこととしています。市民の皆様にとって使いやすい制度に改正されることを望みます。



## あしがき

少子高齢化、子ども子育て、地域活性化など国の施策が動く中、地方においても従来の施策や事業の見直しを求められます。今回の当初予算でも旧来の事業の拡充や新規事業が多くあります。また、市全体に関わる事業や各地域に固有な事業もあります。われわれ議員も日々勉強を余儀なくされます。今年度もスタートしましたが、これからも市民の皆さんの要望や意向を市行政に届けていきます。よろしくお願いいたします。

※ページ数に限りがあり一部を抜粋して掲載しております。  
詳しくはホームページを閲覧して頂ければと思います。

おおばとしのぶ

検索

## 問い合わせ先

〒699-0552 島根県出雲市斐川町中洲 1175 番地  
電話 / FAX : 0853-72-1611 メール : ohba@ohba-toshinobu.com  
公式ホームページ : <http://ohba-toshinobu.com>